

20160924 2015年度 体験学習会

日時：2016年09月24日（土）

場所：マチダレンタルスペース

参加者：諏訪・磯崎・友岡・萩原（日新）・井上・中井・長南・萩原（丸全）・望月・高橋・柳・高市・萩野
萩原・佐藤・関・長谷川・長島・大山・眞鍋・新田・富樫・和光・名張・池田・村上・菊池・中野。

記事：井上 雄介



青年婦人部が主催の「体験学習会」が2016年09月24日（土）、場所は町田にて10時30分より開催された。今年は「陶芸教室」。参加者は午前・午後の2グループに分かれ、午前の部は役員を中心に8名が参加した。午後の部は13時から27名が思い思いの形にて陶芸を行った。

講師には「師楽」から3名の先生に来ていただいた。参加者は茶碗・ジョッキ・湯呑みの中から一つ選び、世界にただ一つの陶芸品を、手順を教わりながら楽しそうに作っていた。

最初に粘土のような土を山のように整える所から始まり、次に指で真ん中に穴を開けていく。底の厚さはチェックポイントらしい。削ってある鉛筆で刺し、削れたところが全部埋まれる位の厚さ

が必要だそうだ。薄くても厚過ぎても仕上げに影響される。そこから、下のほうの土を手で上に伸ばしながら形作っていく。ここでもチェックポイント、仕上がりは一回り小さめに出来るので『え～！デッカ！』と思うくらいの大きさがいいらしい。しめらしたスポンジで内側と外側を綺麗にし、好きな模様のスタンプで飾り付け。重要なポイントとして、口のあたる部分を平らに仕上げる。これが思った以上に難しい。滑らかになるまで慎重に整える。その後は全体を乾かすためにドライヤーをあてる。

そして、底にリング状の土をつけて境目をヘラで無くし、独自のサインをして完成。

あとは、自分の作品にあった個性が出る色を指定する。出来栄えが楽しみだ！。

皆さんなかなか手先が器用で、初めてとは思えないすばらしい出来栄えとなった。陶芸といえば、電動ろくろを思い浮かべる人もいるが、今回は手びねりでの作成となった。

出来上がった作品は青年婦人部総会に於いて展示される予定。

